

川の市民情報

2018年

1

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL: 045-503-4015 FAX: 045-503-4092 メール/ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

本年もどうぞよろしくお願ひいたします



平成29年度 リバーシビックマネージャー 第2回分科会のお知らせ



平成29年度第2回リバーシビックマネージャー分科会を、2月～3月にかけて実施するよう予定しています。日頃河川のモニタリング等、貴重な情報をお寄せいただいているRCMのメンバーと河川管理者が直接会って会議の場を設けることにより、RCMからの活動報告・情報提供、河川管理者側からの情報提供、これらを通じ河川管理上の問題点等を河川管理者・RCM双方で考える場としたいと考えています。

RCMの皆様には別途連絡させていただきますが、前回参加できなかった方も是非参加できるよう、日程調整をお願いします。

分科会名	担当出張所	予定会場
鶴見川上流分科会	新横浜(出)	鶴見出張所会議室(合同)
鶴見川下流分科会	鶴見(出)	
多摩川中流分科会	多摩(出)	二ヶ領せせらぎ館
多摩川下流分科会	田園調布(出)	出張所会議室
浅川分科会	多摩(出)	日野市平山交流センター
相模川分科会	相模(出)	出張所会議室

シンポジウムのお知らせ

かわさき多摩川シンポジウム2017
知ろう河川防災-多摩川をまちの広場に-
Part-3

開催日:平成30年2月2日(金)

時間:18時～20時30分まで

会場:多摩市民館 3階大会議室

内容:2017年度の活動報告

NPO法人多摩川エコミュージアム
基調講演

「多摩川における防災への取り組み」

パネルディスカッション

「知ろう河川防災-多摩川をまちの広場に-」

主催:NPO法人多摩川エコミュージアム

後援:国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
川崎市建設緑政局[問合せ先] NPO法人多摩川エコミュージアム
TEL・FAX:044-900-8386
E-mail npo@tama-eco.com
URL <http://www.seseragikan.com/>

申込不要・入場無料

かわさき 多摩川
シンポジウム2017
知ろう河川防災-多摩川をまちの広場に-
Part-3

もしも多摩川の決壊したら！
水害に対する備えは万全ですか？

「川の防災」について考えよう
●防災キャンプ…各地で熱い視線が！
●情報の確認方法、水害時の避難方法、対策は？
●水害にも備えよう！
●新ハザードマップで抽籤を再点検！

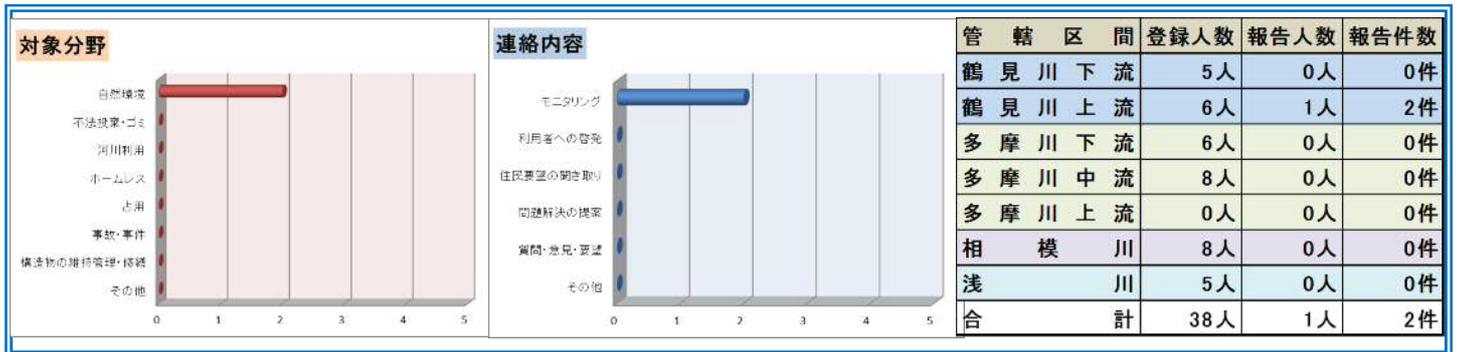
2017年度の活動報告
NPO法人多摩川エコミュージアム(代表:長谷川 伸)
基調講演
「多摩川における防災への取り組み」
柳澤 昌 氏(国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 RCM事務局)
パネルディスカッション
「知ろう河川防災-多摩川をまちの広場に-」
コーディネーター:長谷川伸(多摩川エコミュージアム代表)

主催: NPO法人多摩川エコミュージアム
後援: 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
川崎市建設緑政局

平成30年2月2日(金)
18:00～20:30
多摩市民館 3階大会議室
※注: NPO法人多摩川エコミュージアム
後援: 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
川崎市建設緑政局

申込不要・入場無料
お申し込み: NPO法人多摩川エコミュージアム
TEL・FAX: 044-900-8386
E-mail: npo@tama-eco.com
URL: <http://www.seseragikan.com/>

平成29年12月は、2件の報告をいただきました。ありがとうございました。



伐採木の無償配布を実施しました

京浜河川事務所多摩川上流出張所では、河川管理の一環として、多摩川の堤防上に繁茂している樹木の伐採を行っております。堤防や河川敷に生えた樹木は、洪水時に流下阻害の要因となるほか、堤防を弱体化させるおそれがあります。また倒れた樹木は通行路や道路上にかかる危険があり、安全上の問題からも、計画的に樹木伐採を行い、適切な管理を進めていくことが重要であると考えております。

伐採した樹木については、資源の有効活用及び処分費用縮減の観点から、平成24年度より、市民の方々への無償配布を行っており、今年度も平成29年12月8日(金)・9日(土)に実施しました。

伐採木配布状況



多摩川水防災セミナーを実施しました 「水陸両用車を活用した多摩川水上交通再生と危機管理強化の勉強会」 & 多摩川水防災セミナー

日時:平成29年11月18日(土) 防災検討会:10時~12時、水防災セミナー:13時30分~16時
場所:大師干潟館

午前中の多摩川防災検討会では、講師細見寛氏から、多摩川を防災計画により活用することの必要性から、水上交通再生の話題まで様々な切り口でお話しいただきました。水上交通の話題では新たな乗り物として、水に浮かぶ電気自動車(FOMM)についてのご説明や、日本橋クルーズを例として、多摩川だとどういったコースが魅力的かなど、参加者との意見交換もあり、楽しい勉強会になりました。

午後の水防災セミナーでは、柳澤地域防災調整官による「関東東北豪雨を踏まえた今後の水防災意識社会の再構築について」のほか、川崎市河川課水溜氏によるハザードマップの説明、細見寛氏による「地形からみた多摩川流域の特性と歴史~水土の豆知識より」ご講演のあと、TVKでお天気キャスターをご担当されているくぼてんき氏による「水災害から命を守るために~気象情報の活用~基調講演がありました。

基調講演では、今年の九州豪雨の事例や、温暖化に伴う将来の気象状況について、また水災害に日頃から取り組む事の必要性を豊富な資料とわかりやすく説明いただきました。

午前、午後とも参加者の方からの質問、意見が多くあり、災害や多摩川の活用に対する意識の高さを感じる1日となりました。



細見寛氏



くぼてんき氏とスタッフ

RCM事務局より

河川の管理では、年間を出水期と非出水期とに分けています。出水期とは台風等の影響で洪水が起きやすい6月1日から10月31日までをさし、非出水期はこれ以外の期間をいいます。原則として河川工事は出水期には行わないこととしていますので、非出水期の現在、河川内での工事が多く行われています。次号以降では、現在行われている工事についてもご紹介したいと考えています。

これからの季節、寒さがますます厳しさを増してきます。皆さん風邪などひかないよう体調管理にお気をつけ下さい。今年もよろしくお祈りします。

RCM事務局 松本